

成果指標				
成果指標	当該年度の農業振興団体加入者数／前年度の農業振興団体加入者数(目標数値)×100			
指標設定の考え方	各農業振興団体加入者数の増加を測定することで、担い手や青年農業者等の意識醸成と目標達成度合を測る。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	100%以上	100%以上	0	0
実績	96.2%	97.1%	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	農業振興団体の実質的な統合による事業のスリム化や各農業振興団体に対する事務支援の見直し、加入者数の増加に資する補助要件の検討、団体主導型活動への移行等について引き続き検討する必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	各補助団体とも、一定の事業成果を上げており、団体運営の確保・育成のため引き続き補助は必要である。なお、一部「事業補助」的な内容となっているものは、団体の自主活動として徐々に補助対象からの見直しを図り、団体の自立化を促進するとともに、一部の団体の統合についても引き続き検討を進める必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題